

大人も子どもも笑っちゃう！フランス×静岡で生まれ変わる傑作喜劇

SPAC 秋→春のシーズン 2022-2023 #2

モリエール生誕 400 年記念

SPAC 版『守銭奴 あるいは嘘の学校』

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPAC では、「秋→春のシーズン」と題し毎年 10 月から 3 月にかけて、古今東西の名作戯曲を、芸術総監督・宮城聡と国内外の注目の演出家たちによる現代演出で連続上演しています。25 周年を迎えた今年度のレギュラーシーズンは、SPAC×宮城の初期の大作『パール・ギュント』10 年ぶりの再演で開幕。続く 2 作品目は、モリエール生誕 400 年を記念し、フランス人演出家ジャン・ランベール＝ヴィルドとのタッグによる新作、SPAC 版『守銭奴 あるいは嘘の学校』を上演いたします。

■ いつの世も変わらない、モリエールの「笑い」

世界中で上演され続ける名作『守銭奴』は、フランスの喜劇王モリエールによって 1668 年に書かれました。主人公は異様なまでに金に執着する年老いた商人アルパゴン。そのドケチで頑固な性格が、周囲の人々を巻き込んでいくドタバタ劇は、「性格喜劇」と呼ばれています。極度の心配性で思い込みの激しいアルパゴンと下心ある登場人物たち。お金と恋を巡り繰り広げられる“すれ違いコント”のようなやりとりは笑いを誘い、生きるために必死に嘘をつく人間味あふれる人々の姿に、思わず自分自身や身近な人を重ねてしまいます。

悲劇的なまでにひねくれた性格を持ち苦境に追い込まれる人間の姿を、皮肉たっぷりに「笑い」へと変えて、観る者の心を掴むモリエール。ジャン・ランベール＝ヴィルド×SPAC による新解釈で、大人から子どもまで誰もが笑って楽しめるコメディに生まれ変わります。

■ エネルギッシュに歌って踊る、SPAC の新解釈版

SPAC との長年の交流で厚い信頼関係を築いてきたジャン・ランベール＝ヴィルド。2019 年初演の『妖怪の国の与太郎』は、県内 11 会場で上演され、世代を超え観客を魅了しました。今回ランベール＝ヴィルドはモリエールの『守銭奴』の登場人物たちを中流階級から「持たざる人々」に置き換え、長年 SPAC 作品で幅広い役を演じてきた貴島豪が、激情的ながらも茶目っ気と哀愁を感じさせる主人公アルパゴンを熱演。都会の片隅、資産を持たない人々が社会生活を営む街を舞台に、風刺たっぷりにお届けします。

自身も俳優としてクラウン（道化）芝居を得意とするランベール＝ヴィルドとともに、俳優たちは身体を張って試行錯誤を繰り返し、「笑い」を掘り下げています。台本は、平野暁人による新訳で俳優の個性に合わせたセリフは現在性に溢れ、俳優の高い熱量と濃厚な笑いが詰まった新解釈版を生み出しています。また、棚川寛子のオペレッタのように軽やかな音楽、駒井友美子による奇想天外な衣裳が強烈なキャラクター造形を支え、人間の哀しさや愚かしさを笑いで包み込んでいきます。演出家、俳優、翻訳者、スタッフが「丸」となり、モリエールの傑作に自由な発想で大胆に切り込んだ、エネルギッシュで愉快的な SPAC の新作コメディに、ぜひご期待ください。



モリエール生誕 400 年記念／新作

SPAC 版『守銭奴 あるいは嘘の学校』

演出：ジャン・ランベール＝ヴィルド

翻訳・通訳・ドラマツルギー：平野暁人

アーティストック・コラボレーター：ロレンゾ・マラグラ

音楽：棚川寛子

出演：貴島豪、大高浩一、木内琴子、永井健二、ながいさやこ、本多麻紀、三島景太、宮城嶋遥加、山崎皓司、吉植荘一郎

■公演日：

11月26日（土）、27日（日）

12月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日） 各日 14:00 開演

■会場：静岡芸術劇場



演出家プロフィール

ジャン・ランベール=ヴィルド Jean LAMBERT-WILD

1972年、南インド洋に位置するフランス海外県・レユニオン島生まれ。劇作家・演出家・俳優。特異な風土で培われた詩的想像力と、魔術的演出術が高く評価され、異例の若さでフランス各地の国立演劇センターの芸術監督を歴任。代表作に、偽自伝的作品群である『ヒュボゲウム(墓)』、ブラジルの原住民と制作した『脱皮』、『ゴドーを待ちながら』等。2014年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受賞。22年4月『UBU CABARET (ユビュ キャバレー)』を発表し各地でツアー(2022-2023)。10月には仏リュマニテ紙にて、SPACでの『守銭奴』について全5回にわたるコラムを連載。SPACでは『スガンさんのやぎ』(11年)、『ジャン×Keitaの隊長退屈男』(14年)、『リチャード三世 ～道化たちの醒めない悪夢～』(18年)、国際共同製作『妖怪の国の与太郎』(19年、20年)を上演。



8月に行われた第1期稽古の様子／撮影：平尾正志

チケット 好評販売中!

●料金(税込/全席指定)

一般：4,200円

ペア割引：3,700円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引：[満60歳以上] 3,500円

学生割引：[大学生・高校生] 2,000円

[高校生以下] 1,000円

ファミリー割引もごさいます♪

高校生以下を同伴の大人1名につき 3,300円

※電話・窓口にてお取り扱い

*そのほか、各種割引あり

●お問い合わせ・チケット購入方法

SPAC チケットセンター TEL：054-202-3399

(10:00~18:00, 休業日11/14を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」

SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、平日には静岡県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。本作の中高生鑑賞事業公演では、15公演で約2,880人の中高生が来場予定です。一般の方がお入りいただける日程もございます。詳細は公式サイトにて。

関連企画

◆SPACリーディングカフェ (Zoom開催)

出演俳優と一緒に、台本を声に出して読む人気企画。

11月7日(月)、28日(月) 各日 19:30~21:30

参加費：1,500円/要予約

ナビゲーター：永井健二

ゲスト俳優：本多麻紀(11/7)、木内琴子(11/28)

●ブレストーク

一般公演日の開演25分前より、2Fカフェ・シンデレラにて。舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

●アーティストトーク

終演後にトークを開催。

登壇者はSPAC公式サイトにて発表します。

11月26日(土)、27日(日) 参加無料/予約不要

●バックステージレクチャー

終演後にSPAC創作・技術部スタッフが舞台裏を解説します。

12月3日(土)、12月10日(土)、12月11日(日)

所要時間：約30分 参加無料/予約不要

●はじめてのモリエール講座

SPAC・文芸部の社会学者・大澤真幸が、ご観劇前にモリエール作品の魅力をご紹介します。観劇が初めてでない方もご参加いただけます。

12月4日(日) 12:30~13:30

参加無料/要予約

製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター 共同制作：La coopérative 326

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

SPAC版『守銭奴 あるいは嘘の学校』に関するお問合せや取材のお申込みは、

SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 計見までご連絡下さい。

Tel：054-203-5730(静岡芸術劇場) / Fax：054-203-5732 / E-mail：koho@spac.or.jp